Panasonic®

壁直付型殺菌灯器具

施工説明書
取扱説明書
保管用

品番 FA01992Z　FW01982
（一般屋内用）　（防湿型）

・器具の施工には電気工事士の資格が必要です。施工は必ず工事店に依頼してください。

施工説明　**工事店様へ、この説明書は保守のためお客様に必ずお渡しください。**

安全に関するご注意

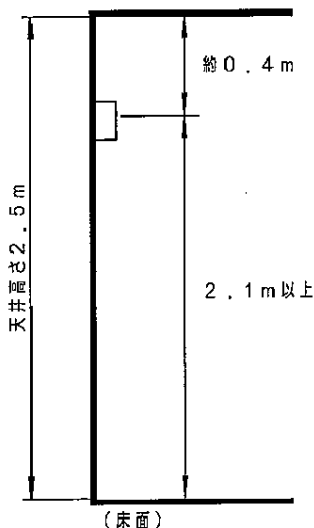
⚠警告

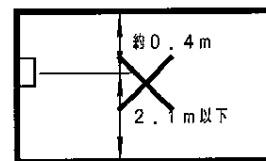
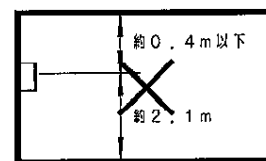
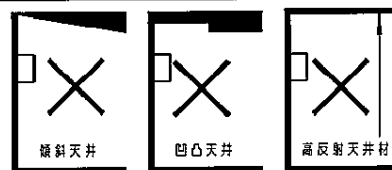
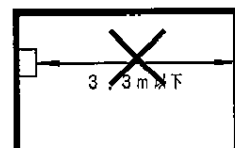
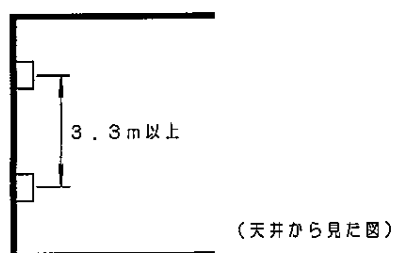
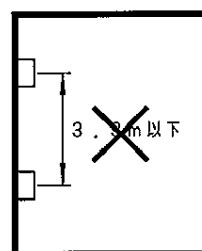
- 施工は、設置基準・施工説明にしたがい確実に行なう。
  施工に不備があると、殺菌線により目や肌の炎症、落下・感電・火災の原因となります。
- 器具を改造しない。落下・感電・火災の原因となります。
- 点灯確認はカバーを取付け間接光にて行なう。殺菌線により目や肌の炎症の原因となります。
- 表示された電源電圧（定格電圧±6％）・周波数の電源で使用する。指定外の電源電圧・周波数で使用すると、感電・火災の原因となります。

⚠注意

- 直射日光の当たる場所、湿気の多い場所、振動の強い場所、雨水のかかる場所、風の強い場所、腐食性ガスの発生する場所では使用しないでください。落下・感電・火災の原因となります。
- 周囲温度は、5～35℃で、使用してください。指定外の周囲温度で使用すると、ちらつきや短寿命の原因となります。

設置基準

取説No. FA01992Z－T5

各部のなまえと取付方法

⚠警 告

施工は、施工説明書にしたがい、確実に行う。施工に不備があると、火災・感電・落下の原因となります。

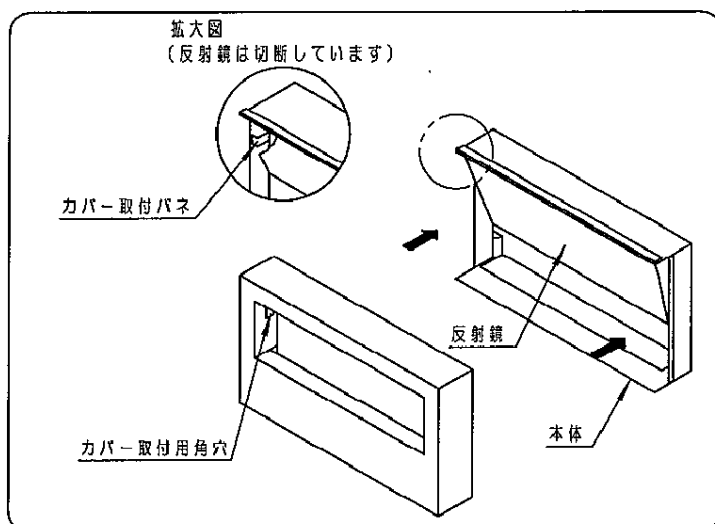
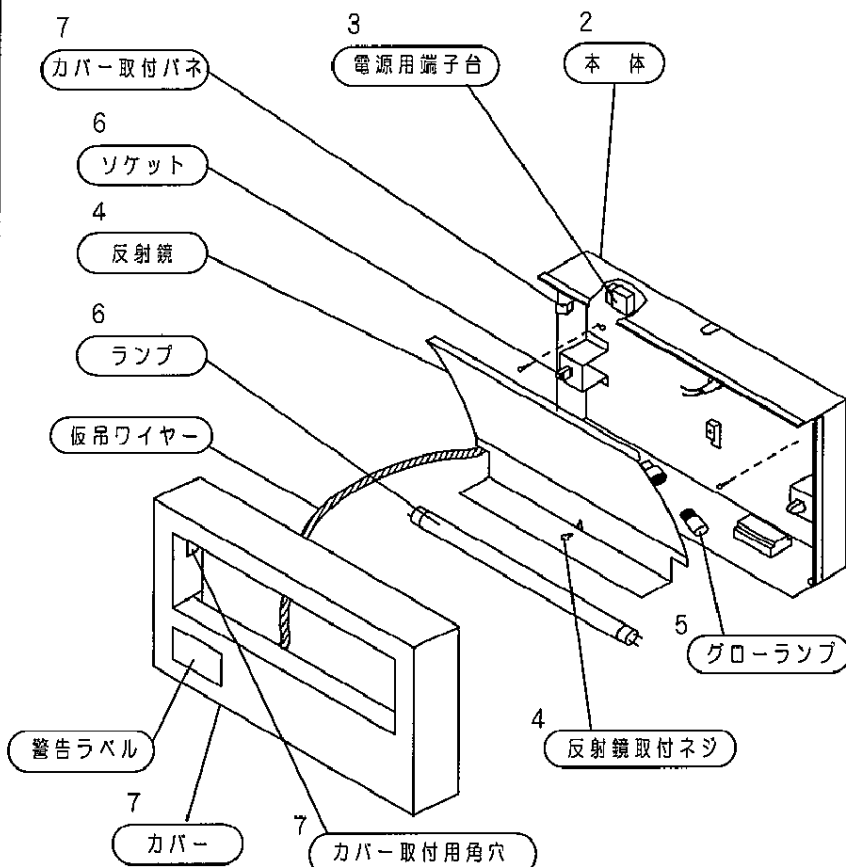
（ＦＡ０１９９２Ｚの場合）

拡大図
（反射鏡は切断しています）

カバー取付バネ

反射鏡

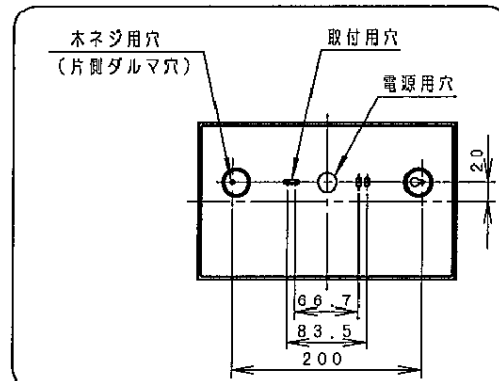
本体

カバー取付用角穴

1　取付前の確認

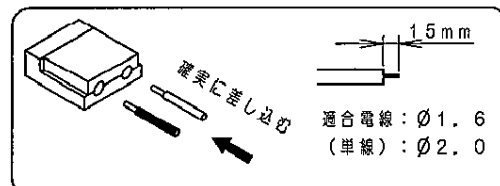
・器具質量（１．４ｋｇ）に十分に耐えるよう、木ネジ取付部の強度を確保する。

不備があると器具落下の原因となります。

2　本体の取付

・電源線を本体の電源穴から引き込んでおく。
・木ネジにて壁面に確実に取付ける。

不備があると器具落下の原因となります。

3　電源線の接続

・電源用端子台に確実に差し込む。

接続が不完全な場合、火災の原因となります。

4　反射鏡の取付

・反射鏡固定ネジにて確実に固定する。

不備があると殺菌灯による目や肌の炎症の原因となります。

5　グローランプを確実に取付ける。

6　殺菌ランプを確実に取付ける。

7　カバーを確実に取付ける。

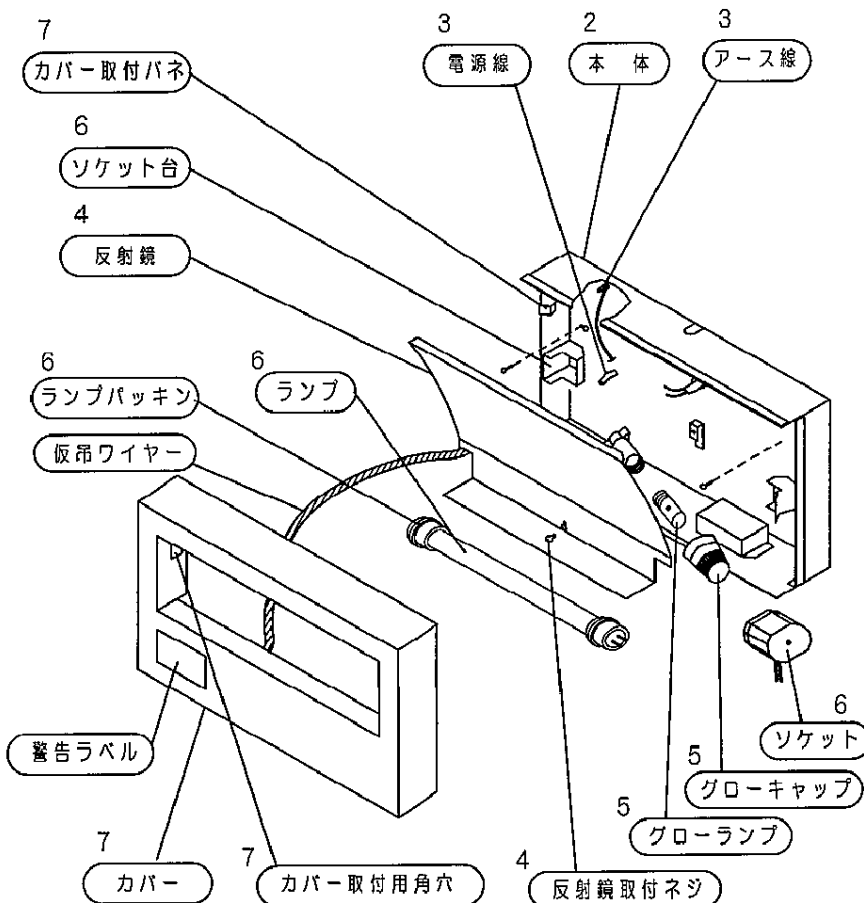
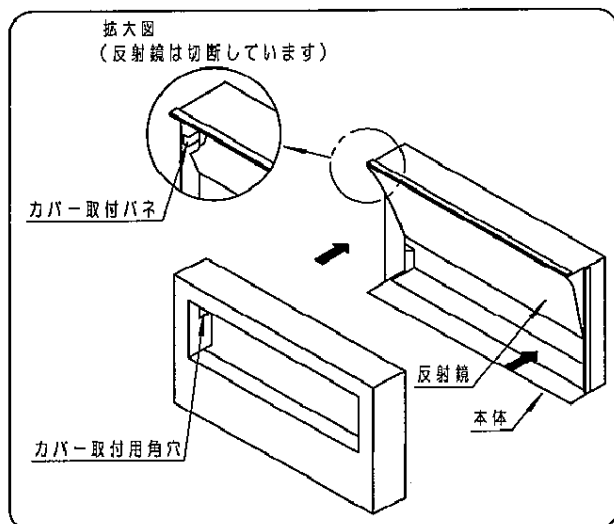
・本体のカバー取付バネにカバー取付用角穴をハメ込む。

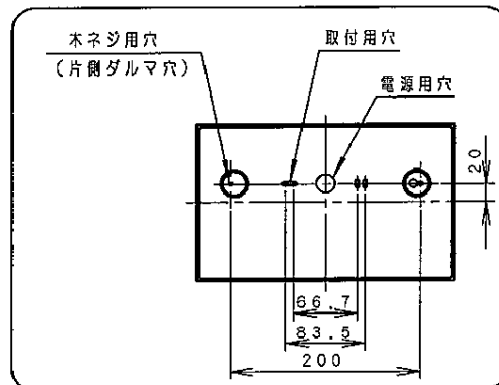
不備があると殺菌灯による目や肌の炎症の原因となります。

各部のなまえと取付方法

⚠警告

施工は、施工説明書にしたがい、確実に行う。施工に不備があると、火災・感電・落下の原因となります。

（FW01982の場合）

7　**カバーを確実に取付ける。**
・本体のカバー取付バネにカバー取付用角穴をハメ込む。
不備があると殺菌灯による目や肌の炎症の原因となります。

1　**取付前の確認**
・器具質量（1．5kg）に十分に耐えるよう、木ネジ取付部の強度を確保する。
不備があると器具落下の原因となります。

2　**本体の取付**
・電源線を本体の電源穴から引き込んでおく。
・木ネジにて壁面に確実に取付ける。

不備があると器具落下の原因となります。

3 **電源線、アース線の接続**
・D種（第3種）接地工事が必要。
・器具口出線と電源線、アース線の絶縁処理を確実に施して接続する。
接続が不完全な場合や容量オーバーの場合火災の原因となります。

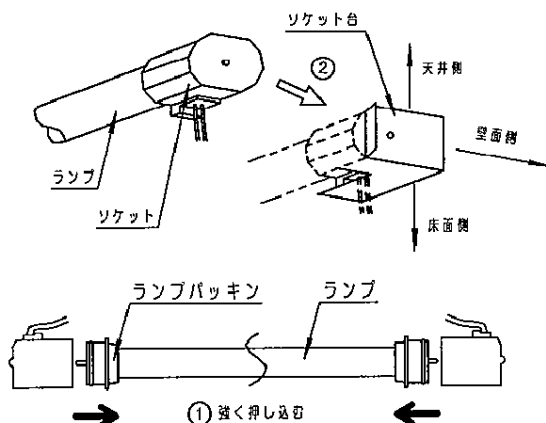
4　**反射鏡の取付**
・反射鏡固定ネジにて確実に固定する。
不備があると殺菌灯による目や肌の炎症の原因となります。

5　**グローランプを確実に取付ける。**
・グローキャップを締付ける。

6　**殺菌ランプを確実に取付ける。**
・ソケットにランプパッキンをセットした状態のランプを確実に押し込み、ソケット台にしっかりとハメ込む。
・ソケットのリード線は本体内に収納する。

ランプ・ソケット取付

取説No．FA01992Z－T5

取扱説明　**お客様へ、この説明書は必ず保管ください。**

・ご使用前にこの取扱説明書を必ずお読みのうえ、正しくお使いください。

安全に関するご注意

⚠警告

- 器具を改造しない。　落下・感電・火災の原因となります。
- 万一、煙が出たり、変な臭いがするなどの異常が発生した場合、すぐに電源を切り、工事店に修理を依頼する。
  そのまま使用すると感電・火災の原因となります。
- 殺菌線により、目や肌に炎症の恐れがあるため、次の事項を必ずお守ること。
  - ・この器具は空気殺菌専用器具です。他の用途には使用しないでください。
  - ・病室・ベビールーム等、皮膚の弱い人がいる場所では使用しないでください。
  - ・ランプを直視しないでください。　・ランプ交換やお手入れの際は必ず電源を切ってください。
  - ・カバーを取り外して使用しないでください。　・点灯時間は1日延べ8時間以内にしてください。

⚠注意

- ランプ交換等によりカバー、反射鏡を外し再度取付ける場合は取付方法に従い確実に取付けてください。
  落下によるけが、物損、殺菌線により目や肌の炎症の原因となります。
- 照明器具には寿命があります。設置して１０年経つと、外観に異常がなくても内部の劣化は進行しています。
  点検・交換してください。※使用条件は周囲温度３０℃、１日１０時間点灯です。
- １年に１回は「安全チェックシート」に基づき自主点検してください。３年に１回は工事店等の専門家による点検をお受けください。
  点検せずに長期間使い続けるとまれに落下・感電・火災などに至る場合があります。（チェックシート番号：ＣＬＸ２０２１ＢＡ）
- 樹脂製パネルを有する照明器具等と併置する場合は殺菌線がパネルに当たらないように設置ください。
  パネル劣化の原因となります。
- 壁紙や布地等が殺菌線の直接照射を受けると退色や劣化を生じますのでご注意ください。
- 一般に植物は殺菌線に対して敏感です。弱い殺菌線でも葉がしおれ、枯れてしまうことがありますのでご注意ください。
- 殺菌線により、ランプパッキンが劣化します。ランプ交換時には必ずセットで交換してください。（ＦＷ０１９８２のみ）
  放置すると火災の原因となることがあります。
- アルカリ系洗剤は使用しない。　強度低下による破損の原因となります。

使用上のご注意

・常に殺菌効果を維持していただくため、定期的に清掃してください。
・周囲温度が高い場合・点灯時間が長い場合などは寿命が短くなります。
・殺菌ランプは点灯するに従ってわずかずつ出力が減少します。約３，０００時間ごとにランプ交換を行なってください。

保証について

・保証について　・・・この商品の保証期間は１年間です。但し、安定器は３年間です。ランプ・グロー点灯管等の消耗品は除きます。詳細は弊社カタログをご参照ください。
・保証書について　・・・保証書が必要な場合は、弊社代理店または弊社営業所へお申し出ください。
・補修用性能部品の保有期間　・弊社はこの照明器具の補修用性能部品（電気部品）を製造打ち切り後、６年間保有しています。補修用性能部品には、同等機能を有する代替品を含みます。

お手入れ・ランプ交換

⚠注意

- 感電のおそれあり、ランプ交換時は、必ず電源を切ってください。
- やけどのおそれあり、点灯中や消灯直後はランプやその周辺をさわらないこと

・器具の清掃について　・・・・・水または中性洗剤を用いて、汚れた部分を軽く拭き取ってください。
　　　　　　　　　　　　　　　・シンナー、ベンジン、アルカリ系洗剤で拭かないでください。
（ご注意）　　　　　　　　　　・変色・変質、強度低下による破損の原因となります。
・カバー板金部は抗菌・はつ油塗装を施しています。
抗菌効果を維持するため、器具の表面は、こまめに清掃してください。
・カバー板金部表面がくもって見える場合、使用前に柔らかい布で拭いてください。
抗菌効果には影響ありません。

抗菌　抗菌とは細菌の増殖を抑制することです。

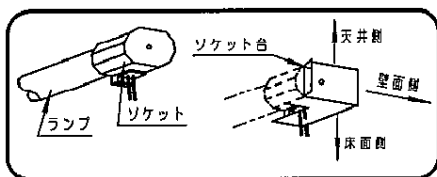
抗菌加工部位	カバー板金部
抗菌剤の種類	無機系（銀）

・ランプ交換について　・・・・・本体表示にしたがって、右記の指定された部品を使用してください。
防湿性が損なわれ、絶縁不良による感電の原因となります。
（パナソニック製殺菌ランプをご使用ください。）

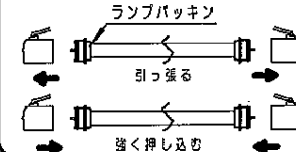
交換部品

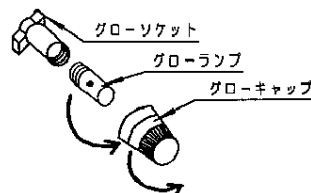
器具品番	殺菌ランプ（ランプセット）	グローランプ
ＦＡ０１９９２Ｚ	ＧＬ－６	ＦＧ－７Ｅ
ＦＷ０１９８２	ＦＫＷ０１９８６０３	

（ランプ交換の手順）
１．カバーを取外す。
　・片手でカバーを引く。

２．ソケット台からソケットを外す。（ＦＷ０１９８２のみ）

３．ランプを交換する。

ＦＷ０１９８２の場合
・必ずランプパッキンとセットで交換する。
ランプパッキン
引っ張る
強く押し込む

ＦＡ０１９９２Ｚの場合
ランプ
②取外し
取付
①
ソケット

４．２→１の順に取付ける。

（グローランプ交換の手順）
１．カバーを取外す。
　・片手でカバーを引く。
２．グローキャップを外す。（ＦＷ０１９８２のみ）
３．グローランプを交換する。
４．２→１の順に取付ける。

点灯確認は必ずカバーを取付けてから行なってください。目や肌の炎症の原因となります。

パナソニック株式会社　施設・店舗照明ビジネスユニット　〒５７１－８６８６　大阪府門真市門真１０４８
お問い合わせ先　パナソニックお客様ご相談センター０１２０－８７８－３６５（フリーダイヤル）０１２０－８７８－２３６（ＦＡＸ）
ＮＳ０８１０－１００７１２